

発行：東京民主医療機関連合会
北中ブロック城北地域診療圏協議会
編集：医療と健康のひろば編集委員会
〒174 8502 東京都板橋区小豆沢1 6 8
健康文化会内
電話03 5994 0271
ファックス同上(自動切替)

2007年10月 第98号

臨時国会がはじまり3日目で突然の首相の辞任。福田内閣が誕生しましたがアメリカべったり、大中企業中心の政治に変わりありません。国民の要求を実現させるため運動を広げましょう。

医療と健康のひろば

学びあい助け合い みんなでつながって

坂下診療所健康友の会



みんなで食べるとおいしさ倍増!!

マスコミで大都市の「う」を合言葉にしながら、取り組みを強めて近所づきあいの希薄さからの実態が頻りに報道されています。坂下診療所健康友の会では「一人ぼっちをなくそみ学習もしています。食事作りは友の会の幹事さんです。複数の幹事さんで担当の班を決め、メニューを決めたり作ったり大忙しです。今日はきらく班の食事班会です。参加者はいつもより少ないのですが、食事のメニューは散らし寿司に野菜たっぷりのお吸い物、かぼちゃのサラダにトマト添えて色鮮やかです。」「とってもおいしいね。大勢で食べるからさらに美味しくたべられる」とにぎやかに笑いが絶えません。食後は恒例のミニ学習会。この学習は毎回続けていますが、「夏ばて防止」区の健診時期には、「健診結果の見方について」など、病気の話しや日頃の注意など、時期に即応したものをとりいれていきます。

講師は診療所の看護師や事務、志村薬局の薬剤師が交代で引き受けています。わかりやすいといつも好評です。今日は薬剤師の中島さんから「尿もれ」についての話しでした。高齢になると尿もれはどうしておこなうのか、防ぐためには、筋力を強くする簡単な体操の説明に体を乗り出して聞き入ります。質問も次々と出され和やかに。お腹も心も満たされたお食事班会でした。

小豆沢病院と各診療所を結ぶ送迎車の運行を9月から開始!!

週に一日(定時で三便)送迎車の運行を九月七日から開始しました。かねてから患者さんから要望をいただき、検討していただきました。診療所の患者さんが小豆沢病院の内視鏡やCT検査、入院の際に利用していただくものです。普通車が六席、車いすは二台乗車できます。詳細は、各診療所の受付にお問い合わせください。

初日の九月七日は台風直撃の朝でしたが、CT検査でご利用になりました。

病院と診療所が近くなったと好評



病院と診療所が近くなったと好評

運行予定
月曜日
●板橋西便
下赤塚診療所、高島平診療所、坂下診療所、小豆沢病院への送迎
●桐ヶ丘便
桐ヶ丘団地診療所、小豆沢病院への送迎
●金曜日
●練馬便(環八便)
練馬第一診療所、練馬第二診療所、小豆沢病院への送迎

意気高く二〇〇七年度健康文化会共同組織拡大強化月間スタート集会



講演する松岡雅樹さん

九月十二日午後、小豆沢病院外来待合室で健康文化会共同組織拡大強化月間スタート集会が五十名の参加で開催されました。記念講演は、東京民医連組織部副部長の松岡雅樹氏から「高齢者生活実態調査結果と友の会の役割」と題して行われました。この調査では高齢者の「貧困」「孤立」「不健康状態」等の実態が明らかになり、共同組織としては、地域の人々の「くらしや医療・介護の困難に寄り添う」ことが大切であることが語られました。共同組織の役割としては、講師自身の「患者会」活動、「世田谷に民主診療所をつくる会」等々、「友の会」の活動、つまり共同組織の活動そのものが民医連の活動であったことを通じて話されました。

先ず最初に南雲事務から、後期高齢者医療困「孤立」「不健康状態」等の実態が明らかになり、共同組織としては、地域の人々の「くらしや医療・介護の困難に寄り添う」ことが大切であることが語られました。共同組織の役割としては、講師自身の「患者会」活動、「世田谷に民主診療所をつくる会」等々、「友の会」の活動、つまり共同組織の活動そのものが民医連の活動であったことを通じて話されました。

高齢者に負担増と差別医療を強いる2008年4月実施の後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願

参議院議長 殿
参議院議員 殿
2007年 月 日

【請願事項】
2008年4月1日(予定)に実施される「後期高齢者医療制度」を中止・撤回することを求め、国に以下の事項を要請する。
1. 70歳以上の高齢者が負担する保険料(月額約6000円)を軽減する。
2. 70歳以上の高齢者が負担する保険料(月額約6000円)を軽減する。
3. 70歳以上の高齢者が負担する保険料(月額約6000円)を軽減する。

【署名欄】
氏名 住所

「高齢者に負担増と差別医療を強いる2008年4月実施の後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願」署名へご協力を

今友の会の班会や老人クラブ、年金者組合等大変なのに、さらに負担を増やすというのは納得いかない。怒りが広がっています。この負担は高齢者だけでなく現役世代にも負担を課すものです。なんとこの制度は撤回・中止させなければ

患者のみならず、家族やご近所の方にも訴えていただき、署名活動へのご協力をお願いいたします。署名は病院や診療所の職員に渡していただきます。

東京大気汚染裁判 和解勧告を受け入れて 解決へ②

みなさんの大きな支援
ありがとうございます

東京大気汚染公害裁判
原告団 板橋支部長 秋元 正雄

医療費救済制度を確立
すること。④公害防止
対策を実施すること。
⑤継続的な協議機関を
設置すること。の実現
をめざして、上記に述
べたような行動を積み
重ねてきました。

六月二十二日午後三
時、東京高裁で和解の
骨子について(勧告)
が原田裁判長より十五



板橋報告集会で秋元正雄
さん(右)

医療費救済制度の創
設を、これまでに例の
ない画期的なものと同
解してあります。
和解金については、自
動車メーカーに対して
十二億円の支払いを勧
告しました。十二億円
という金額は長年の辛
苦・被害に対する賠償
金・償い金としては、
はなはだ不十分であり
納得のいかないもので
す。しかし、自動車メ
ーカーに対して、裁判
所が解決金の支払いを
命じたことは、重要な
ことであります。

分には渡って、読み上げ
られました。その内容
は、十一年間に渡る裁
判の中で、大気汚染に
ついての問題を広く国
民に提起し、その討議
と解決を迫ったものと
して理解できると「社
会的意義」があると高
く評価しています。

そして、原告らの長
年にわたる病気や生活
困難などの辛苦と被害
を正面から受け止めて
います。

また、自動車排ガス
によって大気汚染が引
き起こされ、健康被害
が生じたことを前提と
して自動車メーカーの
「社会的責任」すなわ
ち法的責任を認める内
容となっております。

確認しました。裁判は
「調印」によって最終
解決となりますが、事
実上終了となりまし
た。

今後、メーカー七
社に対する謝罪と公害
対策の具体的な内容を
明らかにさせる運動を
強化する決意です。
医療費救済制度の対
象疾病のうち、ぜん息
以外の肺炎腫・気管支
炎を適用させる取り組
みを全力で進めること
を決意しています。

今後、原告・患者
が一層団結して、一致
して方向を確認してい
きたいと考えていま
す。

今日まで十一年間に
渡る物心両面に渡るご
支援・ご協力をいただき
ました。心から感謝
とお礼を申し上げます。

楽しさいっぱい

小豆沢病院健康友の会

第17回高齢者のつどい

実行委員長 小川 保正

9/16



簡単なストレ
ッチ体操を全
員でチャレン
ジしました。
つま先立ちで
一分間、かか
とだけで一分
間立ち続ける
ストレッチ。
たった一分で
すが、普段あ
まりしない姿
勢なので、会
場のあちらこ
ちらから「モ
チからだが揺
れる」「助けて!」な
どの嘆声もあがりまし
た。みんなで体をほぐ
した後、乾杯し昼食。
初めて参加した方が
「踊りたかったよ!」「あり
がとう!」「毎年続けて
ね」とあちこちから感
謝の声も寄せられまし
た。

友の会恒例の「つど
い」が志村コミュニティ
センターで六十七名
の参加で開催しまし
た。開会をまちきれず
に連れ立って早々と訪
れる方々も。

此村代表、小豆沢病
院・西坂事務長の挨拶
に続いて、佐藤典子さ
ん(練馬豊島園通り訪
問看護ステーション所
長)が「高齢者の健康
づくり、健康チャレン
ジ」のテーマでお話し
くださいました。また、
このシリーズは八巻
ですが、毎月第三土曜
日(土)です。

「昭和と戦争」ビデオを 見る会を発足!!

下赤塚診療所健康
友の会 会長 中原 義之

そのビデオは会員さ
んから貸していただき
ました。丁度、私たち
の青春時代であり、そ
して今、キナ臭い時代
に逆戻りしそうです。
そんな時代だからこ
そ、ぜひ見たいビデオ
です。

このシリーズは八巻
ですが、毎月第三土曜
日(土)です。

- ・十月二十日(土)
第二巻 「赤紙が届く昭和十一〜十二年」
第三巻 「銃後の女たち昭和十三〜十五年」
・十二月二十二日(土)
第四巻 「立ち上がれ少国民 昭和十六〜十
八年」

今日まで十一年間に
渡る物心両面に渡るご
支援・ご協力をいただき
ました。心から感謝
とお礼を申し上げます。

今日、私たちにできる
ことは、なるべく早く
この薬害の被害者が救
われていくことだと思
います。ぜひこの問題
に注目し、支援してく
ださい。そして、もし
かして自分も、と思っ
た方は身近な医療機関
にご相談ください。



薬局 だより

みどり薬局

薬剤師 篠崎 祥子

一九七〇年代後半か
ら八〇年代、出血、特
に出産時などに多く使
われたフィブリノゲン
という薬を作るには、
たくさんの人から取っ
た血漿(血液の一部)
をひとつにまとめて、
製剤化していました。

肝炎ウイルスのうつた
血液が一人分でも混じ
れば、そこからできた
すべての製品でウイル
ス感染の危険がありま
す。そのことがわかっ



肝炎に感染した患者が
二〇〇二年十月に国、
製薬企業の責任を問う
て裁判を起こしたのが
「薬害肝炎訴訟」です。
五箇所の地方裁判所

今話題の「薬害肝炎」ってなあに?!

てから、製薬会社は海
外でその方法で作られ
た薬を売るのをやめま
した(アメリカでは一
九七七年)。しかし日
本ではこの製品を売り
続け、ますます宣伝も

しました。そして国も
危険性について注意を
しなかったのです。こ
の製品は全国の医療機
関で使われました。ク
リスマシンという薬も
同様でした。このため、

で判決が言い渡されま
したが、四箇所では国
が責任を否定し控訴し
ています。

ひろば96号 クイズまちがい 探し解答

①犬の模様
②左側立っている男の
子の左の履物

- ③男児の描いている絵 をお送りします。
- ④左側の小鳥 板橋区 橋 千早さん
- ⑤猫が眠っている 板橋区 佐野美那子さん
- ⑥じょうろの模様 練馬区 佐藤昭夫さん
- ⑦あさがおの葉の数 板橋区 釜崎初女さん
- ⑧網の下側の柵の幅
- ⑨右側の小鳥の動作

志村さつき苑 250人参加 楽しく賑やかに納涼祭

8/26

実行委員長 下里京子



利用者さんや職員みんなで楽しんで

施設イベントの一環として納涼祭を開催しました。今回は家族の方も参加しやすいよう

にと日曜日にしました。和太鼓や踊り、模擬店では焼きそばやかき氷、綿アメの屋台とゲームなど利用者さんが喜んで参加ができるようにとみんなで工夫するようにしました。当日は、施設長の挨拶で始まりました。職員による迫力ある和太鼓に拍手喝采。各自の休みを返上し、猛特訓した成果が出ていました。踊りも毎日フロアで練習しました。入所の方は家族に浴衣を届けてもらい、浴衣を着て薄化粧すると、日常はみられない明るい笑顔を見せてくれました。車いすを押してもらい一生懸命に踊る姿は輝いていました。浴衣姿の職員

歌 ゲーム 踊り 民謡 など みんなで楽しんだ 小豆沢病院夏まつり 8/29

今年の夏は例年にならぬほどの猛暑でした。今年も小豆沢病院夏まつりをにぎやかに開催しました。駐車場を会場に予定していたのですが、あいにくの小雨で急遽、病院の待合室



楽しみながら踊って

で行なうことにしました。矢田先生の伴奏で合唱しながら開幕。中村副院長からの温かい挨拶があり、いよいよみんなでゲームです。色とりどりのフーセンを



楽しくゲーム

次々と手送りしながら積み重ねてソフトクリームの完成です。地域の民謡の会「つかさの会」の人たちによる工

助成制度紹介

橋北馬 板橋区

板橋区・北区・練馬区の助成制度を紹介いたします。多いに利用しましょう。今回は板橋区です。

高齢者対象

- ① 高齢者福祉電話 週一回の電話訪問。
- ② 65歳以上の一人暮らし又は65歳以上の世帯で安否確認が必要な人
- ③ ①にあてはまりボタ一つで登録されている人へ自動通報される利用料を補助。通報受ける二人登録する。
- ④ 緊急通報システムの設置
- ⑤ 65歳以上で心臓病などの疾患の人。
- ⑥ 家具転倒防止器具の取付け費用の助成
- ⑦ 65歳以上の世帯。一万三千五百円を上限に助成。所得制限なし。
- ⑧ 寝具洗濯と乾燥
- ⑨ 65歳以上だけの世帯。要介護4以上で寝具を

レキミ味線とアコーデイオンによる民謡に患者さんも手拍子で楽しんでいました。

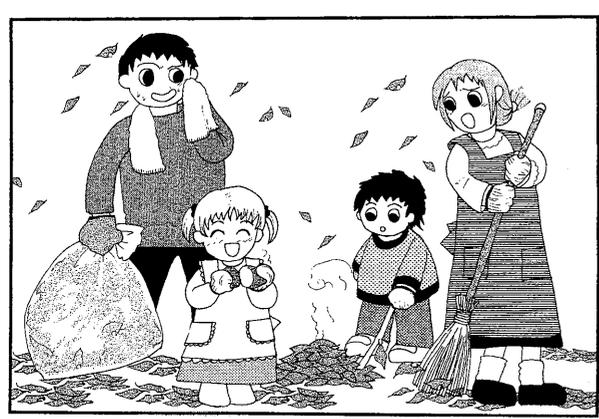
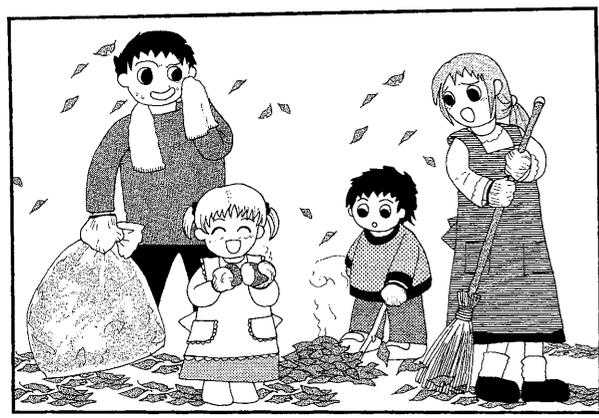
締めは友の会の力も参加者は入院患者さんや職員、地域のボランティアや友の会の方々合わせて百人以上でした。

入院中で病院指定の毎月五千円まで助成。所得制限あり。

- ① ⑤の問い合わせ 板橋健康福祉センター (三五七九) 二三三三
- ② 赤塚健康福祉センター (三九九九) 〇五一一
- ③ 志村健康福祉センター (三九九九) 三三三六
- ④ 認知症高齢者等外出支援サービス
- ⑤ 介護認定され、見守りが必要な人に支援員が外出に付き添う。月四時間まで。一時間百円。
- ⑥ 問い合わせ 板橋区社会福祉協議会 (三九九四) 〇〇八四
- ⑦ 紙おむつとおむつ代助成
- ⑧ 65歳以上で要介護1以上。紙おむつを支給。

☆クイズ まちがい探し

上と下の絵で違っているところが七カ所あります。絵のカスレ等は入りません。応募方法 解答、氏名、住所、電話番号、年齢を記入し、ひろばクイズ娘宛。締め切りは十一月十日。



日。最近のできごと、経験したことや腹の立つことなんでもいいので、ハガキの余白に書いてください。

ムーア監督の映画(アメリカ)

『シッコ』Sickoが訴えること

テロより怖い医療問題

先進国で唯一国家に国民健康保険がないアメリカでは、約五千万人が無保険だといわれています。毎年一・八万人が治療を受けられずに死んでいくのです。アメリカでは医療は金儲けの対象でしかありません。お金が無ければ医療にかかれませんが、しかし、府は市場原理による合理化を医療にまでおしつけ、さらに増えつついく高齢者の医療費を抑えようとする医療の「改革」によってすでに病院の床の削減、病棟の倒産や閉鎖、保険証(編集委員 石塚有宏)



2007年 アメリカ 1時間56分 ギャガ・コミュニケーションズ

上映会場 渋谷シネマGAGA 電話〇三(三四六二)二五三九 シネマリーブル池袋 電話〇三(三五九〇)二二二六 上映時間等はお問い合わせください。